

## 第4回環境審議会からの主な修正点

No.	P	委員名	意見内容	修正前	修正後
1	P2 下から1行 目	藤堂委員	「都市と田園が調和した持続可能な発展のもと、」とあるが、低炭素社会の実現に向けた具体的な内容、目的を示しているのであれば、「のもと、」ではなく、「のために、」などとした方がいいのではないか。	都市と田園が調和した持続可能な発展のもと、	都市と田園が調和した持続可能な発展に向け、
2	P8 (4)生物 多様性の保 全	近藤委員	施策の内容について説明するところであると思うが、当該項目においては他に比べて施策に関する記載が少なく感じた。内容の追記が必要ではないか。	本市は、ほかの都市にはない広大な田園地帯や里湯、里山を有し、これは私たちの貴重な財産です。 これらの自然環境では、様々な生きものが生活し、その中でも本市のシンボルといえるコハクチョウの越冬数は1万羽を超え日本一の数を誇ります。本市では「ハクチョウ」を平成26年10月に市の鳥に制定しました。 今後も引き続き、本市に生育・生息する在来のも種多様な動植物を保護するとともに、ハクチョウが飛び交う豊かな自然環境の保全を図っていきます。	本市には、ほかの都市にはない広大な田園地帯、里湯、里山が広がっており、そこでは様々な生きものが生活しています。その中でも、コハクチョウの越冬数は1万羽を超え、日本一の数を誇っています。 このような豊かな自然環境は、本市の貴重な財産です。そのシンボルとして、本市はハクチョウを平成26年10月に市の鳥として制定しました。 <u>今後も引き続き、本市に生息・生育する在来のも種多様な動植物の保護をはじめ、里湯や里山などの保全・再生に取り組むとともに、こうした活動を実践する人材の育成に努めます。生物多様性の保全に向けたこれらの取組みを推進することで、ハクチョウが飛び交う豊かな自然環境を未来につなげていきます。</u>
3	P16, P17 第2次環境 基本計画の 評価と課題	近藤委員	「協働と学習で拓く環境未来」について、指標項目と評価とのつながりが見えにくいと感じた。	—	評価と課題の項目について、内容を追加。 指標項目に注釈を追加。

No.	P	委員名	意見内容	修正前	修正後
4	P30 指標の設定	菅井委員  波多野委員	もみ殻の燃料活用を目標にしているが、なぜ、もみ殻に限定したか。バイオマスエネルギーとした方が良いのではないか。  1日あたり新潟市自動車総トリップ数削減率について、市民には分かりづらいのではないか。	「もみ殻のエネルギー活用」  「1日あたり新潟市自動車総トリップ数削減率」	「もみ殻などのバイオマスエネルギーの活用」  「自動車利用の削減」
5	P51 (3) 公共交通機関の・・・。	藤堂委員	低燃費車の乗り換えと、公共交通機関の利用との順序は逆にするべきではないか。また、具体的な取組み事例に低燃費車への乗り換えが入っておらず、中項目と小項目の整合性について再度確認が必要と考える。  55ページに記載の「新潟エコ通勤チャレンジサイトを利用します。」という文言について、企業に対して取組みを求めるということでいいのか。市民にもあてはまる取組みではないか。	低燃費車への乗り換えや公共交通機関の利用など、移動手段の低炭素化に取り組みます。  ・ 近くへの移動は、徒歩か自転車にします。 ・ 通勤・通学・行楽などの外出時は、電車、バスなどの公共交通機関を利用します。 ・ 自家用車を運転する場合は、エコドライブ（駐停車時のアイドリング・ストップ、急発進・空ぶかしの抑制、エンジンプレーキの有効利用、法定速度による定速走行、タイヤの空気圧の適正化をはじめとする点検・整備等）を実践します。 ・ <u>無駄な荷物を積んだまま運転しません。</u>	<u>公共交通機関の利用や低燃費車への乗り換えなど、移動手段の低炭素化に取り組みます。</u>  ・ 近くへの移動は、徒歩か自転車にします。 ・ 通勤・通学・行楽などの外出時は、電車、バスなどの公共交通機関を利用します。 ・ <u>新潟エコ通勤チャレンジサイトを利用します。</u> ・ 自家用車を運転する場合は、エコドライブ（駐停車時のアイドリング・ストップ、急発進・空ぶかしの抑制、エンジンプレーキの有効利用、法定速度による定速走行、タイヤの空気圧の適正化をはじめとする点検・整備等）を実践します。 ・ <u>車を乗り換える際は、使用人数、目的に見合った大きさのものにし、低燃費車や低公害車を選択します。</u>

No.	P	委員名	意見内容	修正前	修正後
6	P52 (1) 一人 ひとりが・・・。	波多野委員  古島委員	記載内容が上から順序立てられていないため、読みづらくなっている。記載順の見直しをお願いしたい。 また、「料理を残さず食べ、」の表現について、再考が必要と考える。  市民のリサイクル製品の購入、活用を促進する趣旨の内容を記載してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>計画的な買い物を心がけ、できるだけごみを出さないようにします。</u></li> <li>・ 日頃からマイバッグやマイボトルを持ち、不要なレジ袋や使い捨て容器をもらわないようにします。</li> <li>・ <u>できるだけ包装の少ない商品を選びます。</u></li> <li>・ まだ利用できるものは友人に譲ったり、リユースショップに出したりするようにします。</li> <li>・ <u>料理は残さず食べ食品ロスの削減に努めます。</u></li> <li>・ 生ごみの水切りをしたり、ライフスタイルに合った生ごみの資源化を実践したりします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日頃からマイバッグやマイボトルを持ち、不要なレジ袋や使い捨て容器をもらわないようにします。</li> <li>・ 計画的な買い物や包装の少ない商品選びを心がけ、できるだけごみを出さないようにします。</li> <li>・ <u>料理はできるだけ食べきるようにし、食品ロスの削減に努めます。</u></li> <li>・ 生ごみの水切りを心がけるとともに、ライフスタイルに合った生ごみの資源化を実践します。</li> <li>・ まだ利用できるものは友人に譲ったり、リユースショップに出したりするようにします。</li> <li>・ <u>ごみと資源をしっかりと分け、リサイクル素材から作られた製品を利用するようにします。</u></li> </ul>
7	P56 (4) 事業 所内において・・・。	池田委員	グリーン購入の推進に関連して、自社のグリーン購入はもとより、取引先にもグリーン化を求めている事例がある。これに関連して、「環境配慮活動に積極的な事業者から優先的に調達します」などの記載を加えていただきたい。	—	「環境配慮活動に積極的な事業者から優先的に調達します。」を追加

No.	P	委員名	意見内容	修正前	修正後
8	指標項目の設定について	<p>原田委員</p> <p>皆川委員</p>	<p>前計画では市の取組みについての指標が多くあったが、次期計画では、ほとんど見えなくなっている。市の施策に関する指標は、目標の達成状況を図る上で必要なものと考えてるので、目標に入れるかは別として、点検項目として残すべきではないか。</p> <p>前計画の評価として、市民の参加が課題であるという評価があるにも関わらず、市民参加を増やす内容の指標が次期計画に出てこないのに不自然さを感じる。 新潟県においても、市民参加を促す施策を実施しているが、市民にとっては頭では分かっているけれども行動にまで移しづらいのではないかと感じている。 こうした状況においては、市民参加に関する指標項目は、やはり必要ではないか。 この計画の指標項目に入れるかどうかは議論が必要だが、少なくとも、前計画の課題を認識しながら、次の計画においても市民参加を実施項目として位置付ける必要があるのではないか。</p>	別紙「指標項目の設定について」を参照	